(単位:百万円)

区分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	6,216	6,449	232	(注1)
うち補正予算による追加	85	85	0	
施設整備費補助金	193	206	13	(注2)
うち補正予算による追加	0	0	0	··— /
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	252	304	52	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	34	34	0	(/==/
自己収入	5,171	5,227	56	
授業料、入学料及び検定料収入	4,964	5,009	45	(注4)
附属病院収入	0	0,000	0	( <b>/</b> · /
財産処分収入	0	0	0	
維収入	207	218	11	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	791	1,141	350	(注6)
引当金取崩	0	0	0	(/_ 0 )
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	12,657	13,363	705	
支出	12,007	10,000	100	
業務費	11,366	10,775	590	
教育研究経費	11,366	10,775	590	(注7)
うち設備災害復旧事業	43	36	6	(/1 / )
診療経費	0	0	0	
うち設備災害復旧事業	0	0	0	
施設整備費	227	240	13	(注8)
うち施設災害復旧事業	0	0	0	(110)
1 船舶建造費	0	0	0	
補助金等	252	305	53	(注9)
一種の並う   産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	791	1,049	258	(注10)
住子住房も別九経員及び司門並事業員も   貸付金	0	1,049	0	(110)
東内並   長期借入金償還金	21	20	1	
皮筋に八金貨機を   国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	12,657	12,391	265	
収入 - 支出	0	971	971	

## 予算と決算の差異について

- (注1)運営費交付金については、決算額に本年度使用した前年度以前の繰越額を含んでいるため、予算額に比して決算額が232百万円増となっています。
- (注2)施設整備費補助金については、補正予算が措置されたことにより、予算額に比して決算額が13百万円の増 となっています。
- (注3)補助金等収入については、補助金の受入が見込より増額したことにより予算額に比して決算額が52百万円の増となっています。
- (注4)授業料、入学料及び検定料収入については、予定よりも授業料収入が増額したことにより予算額に比して 決算額が45百万円の増となっています。
- (注5)雑収入については、講習料収入が増額したことにより予算額に比して決算額が11百万円の増となっています。
- (注6)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の受入が見込みよりも多かったことにより、予算額に比して決算額が303百万円の増となっています。なお、決算額には前年度以前における産学連携等研究収入及び寄附金受入に係る繰越額のうち、当年度に使用した47百万円を含んでいます。
- (注7)業務費については、学内プロジェクト事業の繰越により予算額に比して決算額が590百万円の減となって います。
- (注8)(注2)に示した、理由のとおり予算額に比して、13百万円の増となっています。
- (注9)(注3)に示した、理由のとおり予算額に比して、53百万円の増となっています。
- (注10)(注6)に示した、理由のとおり予算額に比して、258百万円の増となっています。

## 損益計算書との集計区分の相違について

(1)業務費の教育研究経費には、損益計算書の教育経費、研究経費、教育研究支援経費、役員人件費、教員人件費、職員人件費及び一般管理費が含まれ、寄附金、施設整備費、補助金等を財源とする費用は含まれていません。